

総括審査の内容(一部)

各分科会において詳細な審査を行った後、総括審査を開催しました。

総務分科会

DX推進に向け、業務量調査や業務見直しを実施する考えは？

**Q** 鯖江市では人口減少や職員減、業務量増加、デジタル化推進など複合課題への対応が急務で、職員負担軽減と業務効率化が重要。沖縄県南城市では業務量調査を基にシステム導入や業務廃止、アウトソーシングを進めており、成果が期待されている。鯖江市でもDX推進のため、全庁的な業務量調査や業務見直しを行い、その結果を踏まえたデジタル化を進めるべきだが、調査や見直しを実施する考えは。

**A** 人口減少や人手不足、業務複雑化に対応し行政サービスを維持するため、自治体DXは不可欠。DX推進には業務改革とサービスの抜本的見直しが重要で、デジタル技術を活用し効率化を図ることで、限られた職員でも持続可能な運営が可能となる。市はDX基本方針に基づき、業務自動化や電子申請導入のほか、AI研修などを実施。今後は業務量調査や業務見直しを進め、外部委託の費用対効果や内製化も検討し、職員の意識改革と組織改革を通じてDX推進に全力で取り組む。

産業建設分科会

食育推進のため、予算拡大や事業拡充の方針は？

**Q** 食育の推進は「食」や将来の農業を守ることにつながる。市では食育関連の事業を実施しているが、決算額は小規模にとどまっている。今後は、食育推進を強化するため、予算規模を拡大し事業を充実させることが望ましいが、その方針はどうか。

**A** 市は「食でつながる みんなのさばえ」を理念に、学校での味覚・出汁授業や農業体験、地場産給食の日などを実施し、地域と連携した特色ある食育も展開。こうした取組は国から評価され、農林水産大臣賞を受賞。さらに、市民向けにSNS発信、伝統食文化動画など幅広い食育を推進。これらは郷土愛や地産地消を促し、持続可能な農業にもつながる重要な取組であり、市民の協力を支えられ大きな予算をかけずに実現してきた。今後も市民協力を基盤に、効果的な取組を予算措置も含め検討していく。

教育民生分科会

不登校防止のための学校支援事業の現場での取組と成果は？

**Q** 不登校児童・生徒への居場所や学びの場を提供する「鯖江チャイルド」は大きな成果を挙げているが、不登校の未然防止はさらに重要。市はスクールカウンセラーやソーシャルワーカー、学習支援員を配置する事業を実施しており、事務事業評価はA評価。学校現場での取組と成果についての所見を問う。

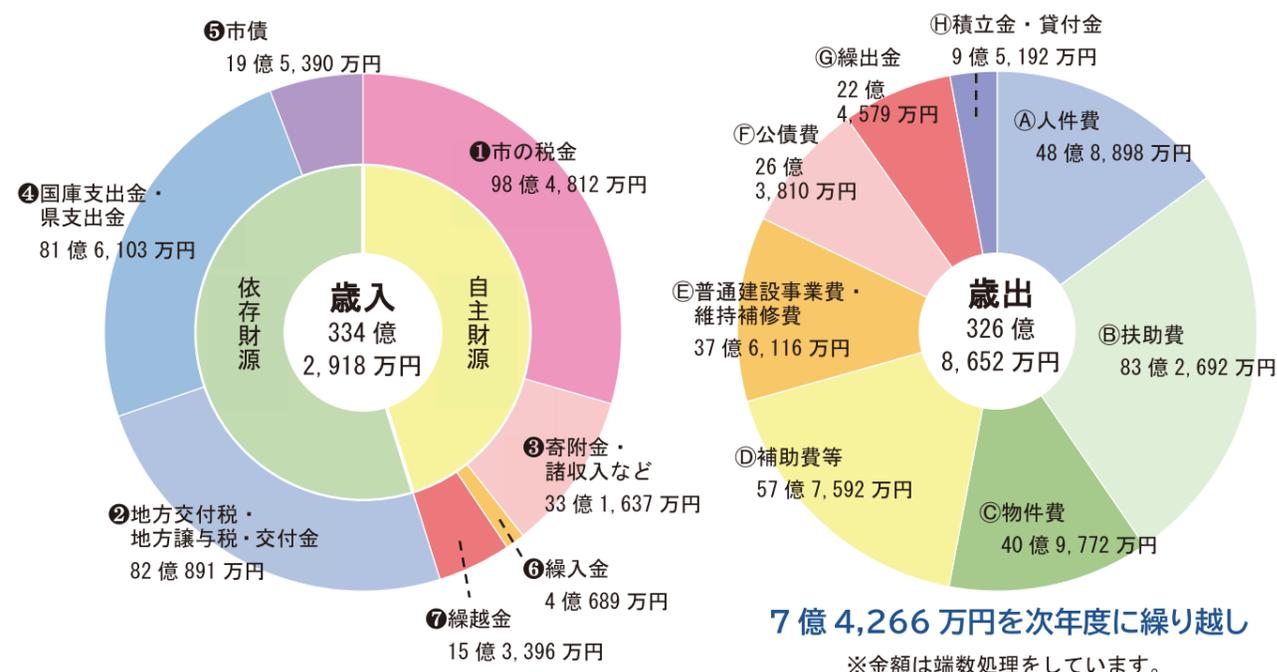
**A** 市は不登校未然防止のため、スクールカウンセラー等の配置に加え、全校で「ポジティブ教育」を推進。小学校では、教室に入れない児童への支援としてAIロボット「LOVOT」を7校に導入し、中学校では、タブレットを使って、その日の気持ちを天気例えて報告する仕組みを導入。さらに、子どもの主体性を育むため「こども予算」で子ども発案の企画を支援。これらの取組により、令和6年度は不登校者数が県全体で過去最多となる中、本市では前年度比3人減の155人に。月5日以上欠席者も4～10月で平均約20人減少するなど成果が出ている。

前年度の予算執行が適切で効率的に行われたかを審査しました。総括審査の様子は右のQRコードからYouTubeでご覧いただけます。



一般会計

税金などを財源とし、福祉や教育、まちづくりなど市の基本的な行政サービスを行うための会計です。このほかに、特別会計(国民健康保険事業特別会計など)、企業会計(水道事業会計など)があります。



鯖江さん家の家計簿



一般家庭の家計簿に例えてみました。

| <年間収入 668万円>              |       | <年間支出 654万円>                 |       |
|---------------------------|-------|------------------------------|-------|
| ① 給料(基本給) 市の税金            | 197万円 | ④ 食費 人件費                     | 98万円  |
| ② 給料(諸手当) 地方交付税・地方譲与税・交付金 | 164万円 | ⑤ 医療費・介護費など 扶助費              | 167万円 |
| ③ 副業収入 寄附金・諸収入など          | 66万円  | ⑥ 光熱水費・日用品など 物件費             | 82万円  |
| ④ 親からの援助 国庫支出金・県支出金       | 163万円 | ⑦ 町内会費・税金など 補助費等             | 115万円 |
| ⑤ ローン(借入金) 市債             | 39万円  | ⑧ 家の改修・車の修理代など 普通建設事業費・維持補修費 | 75万円  |
| ⑥ ⑦ 貯金の切り崩し 繰入金、繰越金       | 39万円  | ⑨ ローンの返済 公債費                 | 53万円  |
|                           |       | ⑩ 子どもへの仕送り 繰出金               | 45万円  |
|                           |       | ⑪ 貯金・その他 積立金・貸付金             | 19万円  |

収入 668万円 - 支出 654万円 = 14万円の黒字 ※金額は予算額の5,000分の1で計算し、端数処理をしています。